

# 次世代リーダー育成プログラム

## 2014 年度 募集要項



## ・次世代リーダー育成プログラムとは？

次世代リーダー育成プログラムとは、自然エネルギー・環境問題をテーマに「**行動する人材の育成**」を目的に大学生・大学院生を対象とした1年間の人材育成プログラムです。

学生たちはプログラムの中で、自然エネルギーについての知識を学ぶと共に、自ら企画した地域アクションの実践を通じて、リーダーシップ、課題解決力、コミュニケーション力などを身につけていきます。2013年度は8大学17名の学生が多摩で学び、7つのプロジェクトが立ち上がり、学生たちは大きく成長し、共に高めあう仲間を得ました。



## ・社会背景と育成したい人物像：

今日におけるエネルギー・環境に関わる諸問題は複雑に絡み合い、誰か一人が解決できる単純なものではありません。そうした社会においては、自ら問いを立て、周りを巻き込み、前向きに行動していける人材が欠かせません。

本プログラムでは、「多摩地域」のフィールドを中心に、**地域課題を自ら発見し、仮説を立て、解決のためのアクションを実行することを通じて、総合的な問題解決能力を養うと共に、地域を愛し、人のため地域のために役に立ちたい、という感性を持った若者を育成することを目指しています。**

## ・ 3つの特徴 :

### ① アクションを通じた自己成長

学生はプログラムを通じて、地域の現状を学び、課題を捉え、エネルギー・環境分野での地域アクション（マイプロジェクト）を企画・実施していきます。自分の手の届かないと思っていることを仲間と一緒にチャレンジするという経験を通じて、人間的に大きく成長する機会を得ます。

### ② 学びあいのコミュニティ

本プログラムには、スタッフ・メンター、昨年修了した1期生、地域の大人たち、自然エネルギー・NPO等の分野の第一線で働く講師等、たくさんの出会いと年齢を超えて学びあうコミュニティがあります。積極的に関わることで貴重な人間関係を得ることができます。

### ③ ソーシャルビジネスの最前線

一般社団法人多摩循環型エネルギー協会（多摩エネ協）と多摩電力合同会社（たまでん）は、多摩地域で循環型エネルギー社会の実現を目指しています。本プログラムに関わるスタッフはそうした最前線の活動の実践者でもあります。学生自身が望めば、そうした活動に、学生ならではのアイデアを連動させ、実質的な地域課題の解決に貢献することも可能です。

## ・ なぜ、大学生なのか？

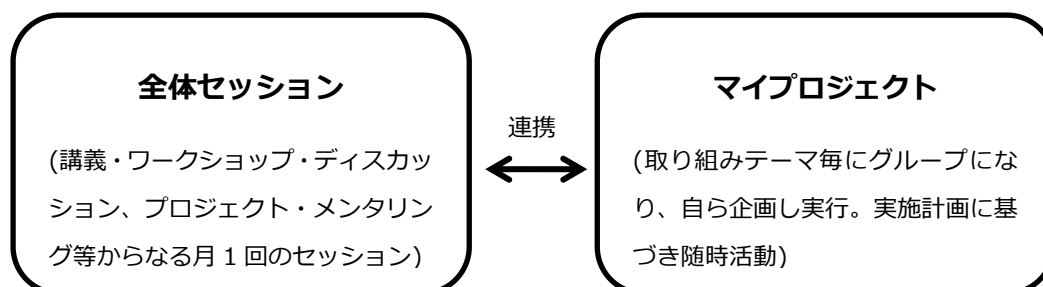
大学時代は人間の幅が大きく広がる時期です。自分の限界を決めず、高い目標に向かって本気でチャレンジすること、たとえ失敗したとしてもそのプロセスそのものが、自分自身の経験として社会に出た時のよりどころになります。そして共に時間を過ごし、同じ目標に向かって本気でチャレンジした仲間というのは利害関係なく今後も続いていくかけがえのないものとなるでしょう。

そうした大学生の前向きな挑戦と自己変革の場を地域に創ることは、結果的に地域全体の活性化につながると考えています。

## ・ すべては自分次第

本プログラムは、自ら積極的に学ぼうとする意欲に溢れる学生を求めています。そして、そうした学生にとっては、たくさんの学びの機会があります。そうしたチャンスを生かすも殺すもすべては自分次第。知識や経験は問いません。前向きに課題にチャレンジすれば、スタッフ・メンターはもちろんのこと、地域の大人たちもサポートしてくれるでしょう。

## ・プログラム構成：



### ① 全体セッション（※原則月1回）

専門カリキュラム：知識系、スキル系の専門講師による講義セッション

ケーススタディ：地域の企業等をゲストに招いた討議セッション

ワークショップ：企画・立案等、意見交換を活発化させるセッション

メンタリング：個別のプロジェクトの進捗発表とスタッフ・メンターを交えた評価・改善セッション

合宿：8月と3月に行われる2回の集中研修

### ② マイプロジェクト（※計画に基づいて随時。プロジェクト毎の定例会議は別途設定）

学生個人の興味に従ってチームに分かれて行う自主活動です。昨年からの継続プロジェクトに参加する、または新規プロジェクト立ち上げも可能です。全体セッション（6-7月）の中でチーム分けを行い、フィールドリサーチと計画立案(7-8月)、プレゼンテーション（9月）、を経て、本格的な活動を開始します。プロジェクトにはメンターが付き、学生のサポートを行います。プロジェクト毎に定例会議を設定し、計画に基づいて活動を行うと共に、月1回の全体セッションでプロジェクトの経過報告とメンタリングを行い、PDCAサイクルを回していきます。

※昨年のプロジェクト例（※今年は昨年とは活動内容は若干異なります）

#### 1. 小学生向けエネルギー環境教育

（チームエネっ子☆）

市内2校でソーラークッカーなどを使ったプログラムを出前授業で実施（※継続予定）

#### 2. エネカフェ for young leaders

（チームこなが）

多摩エネ協が行う「エネカフェ」の学生版として、多世代間討議を実施（※継続予定）



## ・カリキュラム：

今年のカリキュラムは以下の通りです（※場所・予定は変更する場合があります）

月	全体セッション	マイプロジェクト
<b>5/10(Sat)</b> (体験会)	ウェルカム BBQ @大谷戸公園 ウォーキング+ゆいま〜る第2号市民発電所見学 【講義】なぜ今自然エネルギーなのか(桃井和馬) 【講義】多摩エネ協の事業紹介(高森郁哉)	
<b>6/14(Sat)</b> (第1回)	自己紹介・チームビルディング・プロジェクト紹介 @恵泉女学園大学(予定) 【講義】たまでんの事業紹介(山川陽一) 【講義】地域主導型再エネ事業の実際(山下紀明)	既存プロジェクトの紹介 マイプロジェクト立案 ↓
<b>7/12(Sat)</b> (第2回)	【講義】自然エネルギーの最新事情 (自然エネルギー財団：木村啓二、古山葉子) 【ワーク】ソーシャル企画の立案ワーク(山田エイジ)	マイプロのアイデア出し ↓ マイプロ・テーマの選択
<b>8/22-23</b> <b>(Fri-Sat)</b> (第3回)	夏合宿(1泊2日) @多摩地域・恵泉女学園大学(予定) 【フィールドワーク】リサーチ実施 / 結果発表 【ワーク】ニーズとウォンツのすり合わせワーク 【講義】社会的事業の意義と効果(川北秀人) 【体験】キャンプ・セッション	フィールドリサーチ・評価 マイプロ企画再構成 マイプロ年間計画の策定 プレゼンの準備 ↓
<b>9/13(Sat)</b> (第4回)	【プレゼン】マイプロジェクト・プレゼンテーション 【ワーク】マイプロ・ブラッシュアップ・ワーク	プレゼン実施・評価・改善 マイプロ推進
<b>10/18(Sat)</b> (第5回)	【講義】多摩市の企業のCSR(東京ガス：予定) 【ケーススタディ】多摩地域の地域活性化についてのディスカッション(たましん・東京ガス：予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例会議(※チーム毎)</li> <li>・ 随時メンタリング</li> <li>・ 全体セッションでのメンタリング</li> <li>・ 準備</li> <li>・ 実施</li> <li>・ 評価</li> <li>・ 改善案のまとめ</li> </ul>
<b>11/8(Sat)</b> (第6回)	1・2期生自主企画(※ゲストセッション等：詳細未定) 【ワーク】マイプロ・メンタリング	
<b>12/13(Sat)</b> (第7回)	1・2期生自主企画(※ゲストセッション等：詳細未定) 【ワーク】マイプロ・メンタリング	
<b>1/10(Sat)</b> (第8回)	1・2期生企画(※ゲストセッション等：詳細未定) 【ワーク】マイプロ・メンタリング	
<b>2/14(Sat)</b> (第9回)	1・2期生企画(※ゲストセッション等：詳細未定) 【ワーク】マイプロ・メンタリング	
<b>3月未定</b> (第10回)	まとめ合宿(1泊2日) @詳細未定	※3月までにマイプロ終了 ・ 全体評価

## ・日時

カリキュラム記載の通り。

**原則的に毎月第2土曜日 10:00～17:00**（日帰り8回+1泊2日2回=合計10回）

※原則的には全ての日程に参加できることが望ましいですが、（特に6月、8月、9月は重要）やむを得ず欠席する場合は事務局に相談してください。

## ・会場

多摩電力 多摩センター事務所（多摩センター駅・ココリア多摩センター4F）

恵泉女学園南野校舎オーガニックカフェ（多摩センター駅からバスで15分程度）

ベネッセコーポレーションオフィス（多摩センター駅）

その他 多摩地域の会場

## ・対象

大学生・大学院生

（活動は多摩地域で行われますので、通うことができる、また、通う意思があることが条件となります）

## ・定員

2期生20名（※応募者多数の場合は、書類選考を行います）

（※尚、1期生はOB/OGとして、プロジェクト毎・事務局サポートとして加わります）

## ・参加費

2,000円（※多摩エネ協賛助会員加入をもって参加証とする。初回(6月)時に申込書記入と共に現金支払）

## ・後援

多摩市教育委員会、(株)ベネッセコーポレーション

## ・助成団体



独立行政法人環境再生保全機構（平成26年度地球環境基金助成事業）

## ・主な講師陣：

本プログラムでは、専門分野でのプロフェッショナルを講師陣に迎えた講義セッションを行います。

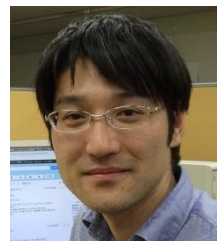
### 山下紀明（認定 NPO 法人環境エネルギー政策研究所 主任研究員）

1980 年生。京都大学大学院地球環境学舎卒業（地球環境学修士）。  
2005 年より環境エネルギー政策研究所において研究員として活動。  
2010 年よりドイツ・ベルリン自由大学政治科学研究科博士課程在籍。  
立教大学経済学部非常勤講師も務め、専門は自然エネルギーを軸とした  
地域のエネルギー戦略、持続可能なエネルギー政策の研究を進めている。



### 木村啓二（自然エネルギー財団 上席研究員）

1979 年広島市生まれ。2007 年に立命館大学大学院国際関係研究科  
博士後期課程修了、博士(国際関係学)。現在、公益財団法人自然エネルギー  
財団上級研究員。専門は、環境経済学、再生可能エネルギー政策論。



### 古山葉子（自然エネルギー財団 コーディネーター）

東京外国語大学英米語学科卒。NHK 国際放送ラジオ英語リポーター、  
国際 NGO ピースポートスタッフ、ドキュメンタリー映画製作会社シグロにて  
プロデューサー、フリーランス通訳・翻訳業などを経て、現職。主に、  
自然エネルギーの成功事例などを紹介するイベントコーディネートを担当。



### 川北秀人（IIHOE 人と組織と地球のための国際研究所 CEO）

1964 年大阪生まれ。87 年(株)リクルートに入社し、国際採用・広報・営業支援  
等を担当し、91 年退職。その後、国際青年交流 NGO の日本代表や国会議員の  
政策担当秘書などを務め、94 年に IIHOE 設立。大小様々な NPO のマネジ  
メント支援を毎年 100 件以上、グローバル企業の CSR マネジメントを毎年  
10 社以上支援すると共に、NPO と行政との協働の基盤作りも支援している。



### 山田エイジ（博報堂ソーシャルクリエイティブプロデューサー/

Le toit【ルトフ】編集長/NPO 法人 Better than today.代表理事）  
クリエイティブディレクターとして、主に内閣府など官公庁系の  
クライアントを担当。3.11 以降は、クリエイティブのスキルを活用し、  
社会的課題を解決する様々な活動を展開している。



## ・スタッフ：

本プログラムは一般社団法人多摩循環型エネルギー協会によって運営されています。本プログラムに関わるスタッフ（理事）はいずれも各分野で活躍してきたプロフェッショナルで、学生たちの学びを最大限にするためのプログラム運営を行います。

### 山川勇一郎（＝プロジェクト責任者）

（一般社団法人多摩循環型エネルギー協会理事・多摩電力合同会社副代表）  
慶大大学院 政策・メディア研究科 社会イノベーターコース修了。  
富士山麓の環境 NPO で、約 10 年に亘って自然体験型の環境教育に携わり、国内外で数々の人材育成を手掛ける。昨春に U ターン、多摩エネ協の事業に参画したのを機に本プログラムを立上げる。多摩市生まれ・多摩市在住。  
趣味はアウトドア、自ビール造り、そして 2 人の息子と遊ぶこと！



### 江川美穂子（＝メンター統括）

（一般社団法人多摩循環型エネルギー協会理事  
NPO 法人 ごみ・環境ビジョン 21 理事）  
20 年以上にわたってごみ問題、環境問題に関わる。市民活動を通して、循環型社会を実現することを目指し、「腑に落ちる循環」を実践中。  
趣味は、野遊び、仲人♪



### 片桐徹也（＝アドバイザー）

（コンサルタント・一般社団法人多摩循環型エネルギー協会理事）  
官民連携、公共インフラに関するコンサルタント。東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻 客員教授、多摩大学総合研究所 客員主任研究員。  
公共土木事業の建設コンサルタントを 18 年間経験の後に独立。  
2001 年に赴任先の岩手県において、地域づくりを目的とした NPO 法人を地域の方々と共に起ち上げて以来、住民自治による地域づくりを研究・実践している。専門は土木工学・官民連携。



## 事務局サブスタッフ：

許田健斗（次世代リーダー育成プログラム 1 期生・多摩大学 3 年）  
片桐徹也プロジェクトゼミ所属。本プログラム参加を通じて卒業後は多摩地域で住み、働き、遊びたいと思うようになる。本年度は新たなチャレンジとして事務局補佐に立候補、学生に近い立場でプログラムのサポート役を担う。





## ・メンター：

本プログラムでは、多摩で働いたり住んでいる社会人が「メンター」という形で参画しています。職業や得意分野はそれぞれですが、いずれも学生より少し上の年代の魅力ある大人たちです。学生たちの良き相談役であり、アクションを後押ししてくれるよき伴走者（＝メンター）です。

### 小田佳奈子

（TAMA 子育てコミュニティ-SATOYAMA▲楽校代表/e.i harmony 代表）

赤ちゃん～じじばばまで多世代の人と自然と私そして地域をつなぐ

ことをライフワークとしている。現在三姉妹の子育て真っ最中。

自分の住む町は自分達で面白くしていこう!!と考え日々走り回っている。

多摩市在住 4 年目まだまだいける三十路突入!! □



### 島田聡（株式会社ベネッセコーポレーション総務部 東京総務課課長）

1986 年入社。学校訪問営業、人事、監査等を経て 2012～2 年間、企業の環境保全、子どもむけ環境教育推進、地域貢献等を担当、その後も継続的に多摩市の地域貢献業務に関わる。趣味は 35 年ぶりに復活した剣道（参段）とランニング。100K ウルトラマラソン（2012 四万十川、2013 サロマ）やフルマラソンを年に数回参加する。現在、東北大学大学院環境科学研究科（環境政策技術マネジメントコース）在学中。



### 木村芳兼（パタゴニアアウトレット東京・目白ストア ストアアシスタントマネージャー）

1978 年神奈川県生まれ世田谷区在住 2006 年パタゴニア入社。妻の実家がある秋田県鹿角市（かつのし）でエネルギーを通じた地域づくりを目指し市民団体をつくり実践中。2014 年 4 月～同社の制度を利用して、1 年間 ISEP でインターン中。好きなアウトドアスポーツはスノーボード、最近ハマっていることは子供と遊ぶこと、次世代リーダーへは自分から猛烈アプローチで参画、多摩の多彩な人の魅力にワクワクしています！



### 山口渉（ファイナンシャル・アドバイザー〈証券会社勤務〉）

1984 年生まれ、群馬県藤岡市出身・多摩市在住。群馬県立高崎高校を経て、中央大学法学部政治学科卒業（2007 年）。在学中から多摩市の市民活動に参画。一般社団法人 多摩循環型エネルギー協会その他、映画祭 TAMA CINEMA FORUM を主催する TAMA 映画フォーラム実行委員会、EARTH VISION 多摩実行委員会、多摩平和イベント実行委員会、3.11 フクシマを忘れない 原発のない未来を TAMA 実行委員会などに関わる。



## ・よくある質問

### Q1. エネルギーのことをあまり知らないのですが大丈夫ですか？

A1. 全く問題ありません。本プログラムはエネルギーをテーマにコミュニティの課題解決を行うことのできる人材育成を目指していますので、経験や専門知識は必要ありません。むしろ「やってみたい」という熱意を最重視します。もちろん、専門的なバックグラウンドを地域発電の世界に活かしてみたいという学生も歓迎します。

### Q2. すべての回に参加できるかどうか不安なのですが。。

A2. 原則的に月 1 回の全体セッションに参加することが条件ですが、やむを得ず都合がつかない場合は事前に事務局に相談して個別に対応するなどすれば、参加は可能です。ただプロジェクト多摩市中心に行われますので、物理的に通えることが条件になります。

### Q3. 多摩エネ協やたまでんと次世代リーダーはどのような関係があるのですか？

A3. 多摩エネ協は本プログラムの実施組織で、多摩エネ協の理事が中心になって運営しています。このプログラムは多摩エネ協の 1 事業ですが、多摩エネ協は他にも理事・会員を中心に様々な活動をしていますので、そうした活動の手伝いなどの機会もあります。たまでんはコミュニティ発電を事業として行う事業会社で、多摩エネ協と兄弟組織です。たまでんの活動に興味がある学生は、インターンのような形で活動の一部手伝いや、団地へのニーズ調査等、マイプロジェクトをたまでんの活動と連動させることも可能です。

### Q4. 参加費以外にお金はかかるのですか？

A4. 全体セッション、プロジェクトの打ち合わせ・実施の際の交通費、活動時の昼食代、2 回の合宿時の宿泊・食事代は実費負担となります。活動に関わる経費（プログラム資材費等）は事務局側で負担します。

### Q5. どんな学生が参加していますか？

A5. 昨年度は多摩市を中心に 8 大学（多摩大、恵泉女学園大、多摩美大、首都大、武蔵野大、立教大、成城大、芝浦工大）17 名の学生がプログラムに通年で参加しました。専門分野や年齢、男女、住まいも様々です。

### Q6. 1 期生と接点はありますか？

A6. はい。あります。1 期生は一旦今年 3 月で修了しましたが、OB/OG として、今年も 10 数名がプログラムに関わる予定です。主に、昨年から継続して行うプロジェクト(環境教育等)のプロジェクトに主導的に関わると共に、合宿や秋以降の全体セッションの運営、イベントのサポート等、全部参加しないまでも 2 期生と共に活動する機会は多くなります。

## ・ 1 期生の声

「企画を通して少し自分に自信がついた。与えてもらうばかりじゃなくて、何かを与えられる人に少しはなれたんじゃないか。むしろこれからどうしていくかが大事」(3年女子)

「心にしみる温かいご感想も、耳に痛いご意見も、どちらも頂きました。反省点が多すぎて、悔しくて、だからこそまだまだ始まったばかりなんだ、というのをはっきり感じています」(3年女子)

「以前はエネルギーをどのように生み出すのかだけを考えていましたが、その先のエネルギー消費そのものを減らすためにはどうすればよいのかを考えていく必要があるということを学びました」(3年男子)

「最初はすべて一人で抱え込んでいました。その結果、企画が全く進まずにいました。そのことをメンターの方に指摘していただき、自分の考えや悩みまたは協力してもらいたいことを積極的にメンターの方を中心に相談し、結果、参加者の集めを手伝っていただくなどして、無事に企画を実施できました」(3年男子)

## ・ 一期生の活躍 (例)

太刀川みなみ(立教大学大学院)

朝日新聞社主催

福島県 再生可能エネルギー普及アイデアコンテスト

最優秀賞 受賞 (2014年5月)



## ・ 地域の方からのメッセージ (報告会より)

報告から彼らの成長の過程が生き生きと伝わってきました。学生さん自身が自ら企画・実行し、多くの大人に支えられたことが何より良かったのでは。感動しました。

本気で頑張ったことが伝わってきました。涙が出るくらい各自のハードルを上げ、精いっぱいやったのが伝わってきました。

「これからやりたいことは？」という問いにはっきりした答えが返ってきて、取り組みの真剣さがうかがえました。

## ・ 申込方法

**ステップ 1 (知る) :** 募集要項をよく読んで、プログラムの全体像や内容を把握してください。

事前の個別面談も可能です。(※日程等はメールにて事前連絡の上調整ください)



**ステップ 2 (申込) :** 申込専用ページをご覧ください、必要事項を記入の上、メールにて申込をしてください。口頭だけでは本申込みになりませんのでご注意ください。

**申込締切 : 6月7日(土) 必着**



**ステップ 3 (選考) :** 定員は 20 名です。応募多数の場合は書類選考になります。その場合、応募動機、本プログラムでやりたいこと、どのくらい参加できるかといった内容を考慮して、総合的に判断します。選考結果は 6月8日(日)中にメールにて本人に連絡します。



**ステップ 4 (開始) :** 6月14日(土)が第1回目となります。この日に1年間のオリエンテーションを行いますので、必ず参加してください。

## ・ 実施団体 (一般社団法人多摩循環型エネルギー協会 = 多摩エネ協)

一般社団法人多摩循環型エネルギー協会とは、3.11 を機に設立され、循環型エネルギー社会の構築を理念に、多摩地域で循環型エネルギーに関する普及啓発・人材育成・環境教育などを行う市民組織です。

2012年5月設立。会員158名(2014年4月末現在) → 詳しくは <http://tama-enekyo.org/>

## ・ 実施協力 (多摩電力合同会社 = たまでん)

多摩電力合同会社は、「たまでん債」という市民ファンドをてこに、多摩地域でコミュニティ発電を拡げる事業会社。多摩エネ協とは兄弟組織に当たります。2012年10月設立。社員6名(2012年4月末現在)。本プログラムでは、講師や事業での学生プロジェクトの受け入れ等の協力を行います。

→ 詳しくは <http://tama-den.jp/>

## ・問い合わせ

多摩循環型エネルギー協会 次世代リーダー育成プログラム事務局（山川勇一郎、許田健斗）

Tel:042-357-0335 Fax: 042-357-0335 E-mail:jisedai[]tama-enekyo.org ([ ]内に@を入れる)

受付時間：平日 10:30~18:30

昨年のプログラムの様子はこちら→Facebook ページ <https://www.facebook.com/ene.leader>